

Hananomi * Contents

❖ 展望2021

一人ひとりの輝き 花の実園の輝き

❖ マルシえへ 笑顔に会いに行く

ポポロ 街への思い 人への想い

❖ 芽吹きの中

さあ！ ココロもカラダも活性化

❖ 新年度にバトンをつなごう

Hananomi - Information



新たな いっぽ

～ 春に歩みを進めよう ～



一年前、今の状況を誰も予想していませんでした。息つく暇もないほどの勢いで、新型コロナウイルス感染拡大が全国にひろがり、対策に取り組む毎日はこれまでの日常を大きく変化させました。

花の実園は私たちにとって“必要不可欠”＝“要”であり、「動かし続けていく」当たり前のようなことこそに大きな意味があると、あらためて実感しています。自分たちに何ができるだろうか？毎日を継続できる感謝の気持ちを応援くださる皆様へ、花の実園らしい輝きで伝えたい。

一人ひとりの努力が積み重なり、再びあの日常を取り戻せることを信じています。

冬に根を伸ばした草花が芽吹き開花に向かう春。じっくり向き合った年度の総まとめから、今、目指している新年度のビジョンへ。五感で味わい尽くし六感が研ぎ澄まされる前向きな推進力を最新ニュースと共にお届けします。



12/18 習志野市長・副市長へ
寄せ植え贈呈

障がいとアートの可能性
創作活動が社会とつながる

習志野市役所 **ちぎり絵** 作品展 2/22-3/2

圧倒的パワーを放つ 感動を通じたコミュニケーション

生活介護アートグループ共同制作による作品展「ちぎり絵アートの世界へようこそ」が、習志野市役所1階交流スペースで開催されました。この作品展は、創作活動の成果である作品を市民の皆様にご覧いただき、花の実園への理解をより深めていただくアートを通じた交流として、今回で3回目を迎えます。

開放的な空間には、一年間に創り上げた代表作品13点を展示、ピュアな感性が重なり合う、繊細でダイナミックな迫力があふれました。貼り合わせた手ちぎり一枚一枚の異なる質感と色使いに、多様な表現の限りない可能性や力強さ、個性を自然に体現する制作風景を感じていただけたら嬉しく思います。

園芸班の花々の彩りと香りが届けられた会場は、華やかで明るい春の雰囲気になります。作品展とタイアップした花苗販売の機会を通じ、作品への感想を直接お寄せいただける交流は、心温まる大きな励みとなりました。



心揺さぶる作品と共に

ちぎり絵の制作では、一人ひとりが互いを刺激し合い・違いを認め合う、唯一無二の個性がたからものです。自由に表現することは、豊かな芸術的感性を研ぎ澄ませより充実した日々の活動につながる、自分達が産みだした価値ある財産となっています。歩みの中で積み上げてきた「キラリと光る輝き」が、作品を通じてたくさんの人の笑顔・勇気・希望・感動となりますように。今後も社会とつながる関係性を描き・紡ぎ・発信してまいります。



播種から
始まる

どこから見ても花の実園らしさを垣間見る
今 総力を結集しよう

園芸 春の陽も笑顔もまぶしい温室へお越しください

昨年12月から一丸となり作っていた寄せ植え鉢は、これ迄で最高の売上高という成果につながり、協力し合った達成感を皆で共有することが出来ました。本格的な冬の寒さとなってもエネルギーに花苗育成に注力し、花の実園ブランド土の更なる改良を話し合いながら試行錯誤を重ねています。丹精込めて作った花苗をぜひ手に取っていただきね。

マリーゴールド1万ポット育成へ、花いっぱい感動の花の庭を目指します。

2月となり一人ひとりが、マリーゴールドの種を均等に蒔き、お客様の手に渡るまで責任を持ち育成しています。自分の育てた花に愛着を持ち「花の実園の花は、マリーゴールド」というイメージを市民の皆様浸透できるよう頑張っています。その魅力にどっぷり癒される園芸は、街や玄関先・軒先にとっても身近な存在です。愛情も手間もかけた分だけ応えて咲く花は、日々・年間を通して様々な成長を見せながら、育てる感動を与えてくれます。

園芸は夢があるから頑張れる

あんなこと・
こんなこと

顧客ニーズ・企業様のニーズに合致
その仕事 花の実園が承ります

お仕事のパートナーとして障がい者のチカラに着目を園芸・木工・縫製・解体・売店・草刈・清掃・受注など、多彩な才能・底知れぬパワー・確かな技術が私たちの誇れる自信です。働く意欲が「挑戦」「生きがい」となり、多種多様なご要望・ご用命に誠実にお応えしています。先が見えない社会情勢にあって最重要課題は仕事の確保。外部業務の請負は、共に働き・互いを讃え・成長する＝障がい者の就労を支えてくださっています。オールラウンダー×スペシャリスト“機動力の花の実園”是非、お任せください。



精巧で緻密

シーラー圧着

結束機で効率化

給湯器解体 昨年7月、当初4名で取り組み始め半年が経過、現在は15名以上の体制へ。1,2月の繁忙期も、メンバーの頑張りや安全第一で、乗り越えて来ました。ガス機器事業所から毎週30～40台を回収し、店舗数も3店舗に増加、一人ひとりの技術力を活かした鍛錬が実を結び、事業基盤を支える主力種目に成長しています。電動工具やドライバーを初めて使う方、解体作業初挑戦となる方も、色褪せない探求心が作業領域の拡大へ。企業と繋がる社会参加と安定した受注量の確保は明日の挑戦が楽しみになるモチベーションの源です。今後も新規作業を開拓し、更なる工賃向上を目指します。

習志野市ふるさと納税返礼品
子供用木製ベンチ 受付開始

2/1から

こよなく愛される木工品でまちづくりに貢献 寄付金という形で、生まれ故郷や応援したい自治体をサポートするふるさと納税は、地域の特産品が御礼としてもらえることもその魅力です。花の実園では習志野市の返礼品として、オリジナルの「子供用木製ベンチ」をエントリー。まちづくりへの寄付金が、障がい者の自立支援につながる仕組みの輪に仲間入りさせていただきました。モノづくりを通じた 作る喜びを伝えたい 色・木目・質感・年輪・節までも、二つとして同じモノがない たった一つだけの手作りベンチ。お使いになるお子さんが木の温もりに包まれる穏やかな時間を思い、心を込めてお届けしています。丁寧に仕上げたなめらかな曲線が、時と共に・人に・空間に馴染んでいく味わいをぜひ感じて下さい。

角の丸みに優しさを～とっても丈夫な自慢のベンチ～

木工 昨年に引き続き、東山市役所からピクニックテーブルと背有リベンチ各3台を受注しました。年度内の納品に向け、現在製作を進めております。材料は厳選した千葉の山武杉で、非常に木目が美しく味わいがあり、完成が楽しみです。皆で丁寧な作業を心がけておりますので、是非ご期待下さい。

やさしい木の香りに包まれる「木と人をつなぐ」木工室では、木材の個性が引き出され、その姿を変えていくように、メンバーも日々スキルアップしています。

さとふる



ふるさと納税サイト ▶▶



それぞれが持つ色・美しさ・木目は 木が生きてきた証

農業×福祉の融合
共生のWin-Winで新たな活路

現在進行中

種子用落花生剥き実作業360kgに初挑戦 農業県千葉が誇る特産物「落花生」は全国第一位の出荷量。冬に種子の手剥きから栽培準備が始まる今ならではの“剥き実作業”を受注しました。機械作業ではない手剥きの種は時間をかけてじっくり発芽する付加価値に繋がるそうです。丁寧な手しごとの確実性が農産物の品質向上へ。付録受注 現在、お子さん向け雑誌付録詰め作業に取り組んでいます。密にならないよう各自間隔を空け、換気も行いながら、皆元気に頑張っています。

職員も学びの場でステップアップ
研鑽を積みサービスの質の向上に

現下に直結する感染対策や支援に関する専門研修等、事業所内研修やオンライン形式による外部研修の機会を活かし、職員も日々研鑽に励んでいます。有意義な成果・建設的な発想を運営に還元し、サービス向上を図ります。

農業＝食に通じる楽しさ
＝社会参加意識もUP



それぞれの課題を結ぶ「農福連携」 生産農家は人手不足×障害福祉は仕事の確保が難しい。農業が障がい者の就労機会を作り、一人ひとり得意を活かす全員総活躍の分業（剥き実・選別・計量・袋詰め・箱詰め）工程がチームで勝てる生産体制に。トマトパクラベル貼り、石鹸や救急セット封入等様々な経験と新規作業での発見をステップに、多様性と可能性を拡大、変化を柔軟に受け入れながら今日も挑戦し続けています。



とにかく やってみよう | Open

ポポロマルシェ

人と人のつながりに共有できる時間が嬉しい、必ず会える人と笑顔。笑顔プロジェクトに賛同くださるサポーターさん・マルシェを楽しみに待っていてくださるお客さま、温かなお力添えと心強い応援があるからこそ、人が集い今日もOPENが実現しています。「美味しい・楽しい・へえ～」そんな場所があれば、おうち時間がもっと楽しく豊かなものに。～水曜日 ポポロマルシェで会いましょう～

ポポロ 街への思い 人への想い

マルシェへ 笑顔に会いに行く

農家さんから自分たちが仕入・収穫してきたからこそ、自信をもって安心安全と美味しさをお客様におすすめできています。新鮮野菜に作り手の愛情とお顔もお人柄も伝えたい。気持ちを込めていから伝わるものが温かい・そこに笑顔の輝きがあるから、また行きたい場所になる。ポポロには街への思いと人への想いがあふれています。おもてなしの心の掛け算でマルシェはホッと癒しの空間に。マスクの下はいつも以上の笑顔でお客様をお迎えしています。

美味しい・新鮮・安心安全・こだわり野菜 サポーター農家さんをご紹介します



みんなのお店

習志野市谷津

毎週の仕入 笑顔の1コマ

店主のお母さんはとっても笑顔が素敵でチャーミング。谷津駅から歩いて約10分くらい、京葉道路脇「野菜直売」「新鮮・安心直売所」のぼり旗が目印。畑やハウスの中には様々な品種の野菜が育ち、店先にはさっきまで土の中にいたまんまの自然感たっぷりに、色よく野菜が並んでいます。気さくに話して下さる作ることへのこだわり・一つひとつに味わいと愛情を感じる野菜話も楽しくて、つつい話し込んでしまうことも。生産農家さんが直接調理方法も美味しさも教えてくれる、スーパーでは味わえない楽しさが両手にいっぱい広がります。仕入れ担当のマルシェスタッフをいつでも温かく迎えて下さる優しさに、私たちは背中を押してもらっています。是非、お店を訪れてみてくださいね。

営業日 火曜・木曜・土曜 午前10時～午後5時
品目 野菜・花・漬物など
所在地 習志野市谷津2-20-10(谷津保育所近く)
電話 047-452-6388

マルシェサポーター
みんなのお店 旬菜農房
群馬県上野村 企業局
カトランベーカーリー
フードバンクちば
あきつ園 (敬称略・順不同)

つながりの輪
広がっています



旬菜農房 ヒバリファーム上泉

四街道市

産直フェアに
駆けつけてくださいました

見渡す空に広大な畑、多彩な品種を育てているオーナーさんは園長と旧知の間柄。「花の実マルシェ頑張れ！」と、どんな時も応援くださっています。産直フェアでテラスいっばいに積まれた大根オールスターズはこのファームで育てられたもの。花の実園のメンバーが収穫の醍醐味を体感させていただいているのも、この大地です。春には上空にヒバリが舞い飛ぶ畑の一部で、マルシェ用の野菜栽培に挑戦させてくださることに。四季折々、根もの・葉もの・実もの、私たちが大きく動かすサポートの力をつないでいく。その思いが根付いているから、花の実オールスターズでとにかくやってみよう！教えていただきながら農作物を作付けから育ててみよう、心も体もうずうずしています。



ヒバリファーム 目の前にひろがる大パノラマ

福祉×福祉 生き生き交流 ますます深まる 福福連携

総合福祉ゾーン
だからこそ

街が元気に人が笑顔になる企画 事業所と街が力を合わせよう

ポポロマルシェを中心にした活動&この開放空間の存在を発信 ▶▶ 次の展開へ

花の実園が立地する総合福祉ゾーンは、高齢者・障がい者・児童などの多様な福祉ニーズと地域のまちづくりに応える機能を併せ持っています。この特徴が人と人の自然な交流を育む地域力となり、社会資源となっています。～地域でスケールメリットを活用する仕組みづくりへ～今、街と共に歩みはじめたポポロを拠点に、連携の取り組みを地域福祉活動の活性化に繋げていきたいと考えています。

◆ 秋津高齢者相談センターと協働による「青空ラジオ体操」をポポロテラス横の園庭で 3/24・31水曜日8:45に行います。どなたでもお気軽にご参加ください。

膨らみ始めた蕾には
夢や希望がいっぱい詰まっています

福祉交流広場 早咲きの桜
2/24撮影



街の声に目指す方向が見えてきた

集客も認知度も少しづつUP

広報習志野12/1掲載の表紙をみて、ご来店くださる方など、つながりの発信力にサポートいただき 近隣地区のお客さまから、少しずつエリアもひろがっています。お子様からご年配の方まで、着実に地域の皆様にご愛顧いただけるマルシェが浸透しています。

地域の声に自分たちの力を重ねていく

昨年7月、今私たちに出来ることから動き始めたポポロマルシェ。まずはやってみよう、とりあえずでもやってみることで最初は考えてもいなかったことが展開するチャンスが広がっています。お客様の声から「そうだ次はあんなこと」可能性の発見にアイドリングが高まっています。

求められるコト・モノ=人と人とのつながりに

お客様のリクエストから、宅配・お預りサービス、食パン販売など、顧客満足度を高める試みに取り組んでいます。10月から始めたコーヒーの無料提供で、買い物後にテラスや園庭のピクニックテーブルで談笑する光景も見られるように。ポポロが街のランドマークとして再生し、マルシェが物販から交流の場へ。プラスαの付加価値で地域に貢献、誰かの役に立っている実感が喜びとなっています。

ちょっと ぱらっと しあわせマルシェへ

お客様との交流で何うダイレクトなご感想は、継続開催の大きな励みとなっています。「美味しい・お値打ち・安心・珍しい品種が面白い・野菜は一週間分ここでまとめて買う」「近くにこんな場所は欲しかった・ずっと続けて・買い物楽しい・ホッとする」「利用者の笑顔、頑張る姿が素敵」など、賛同と応援のお言葉を糧に、気軽に楽しめる・元気になる・笑顔になる『ポポロマルシェ』を育ててまいります。

心くすぐる

ちょこ堀り・ふか堀り企画 上野村特産品フェア



手間ひまかけて育てられた新鮮さ



レシピポップも
農家さんのお手製

◀ まちかど特派員さんがフェアを取材
習志野市HP「ならしのNOW」に紹介されました

ならしのNOW



毎週水曜日 新鮮スマイル



園長直伝 即興ハーブ講座

ポポロマルシェが目指している

一番大切なこと

利用者の活躍する場(ところ)

一人ひとりが自分らしく輝く場(ところ)



毎週水曜日 新鮮スマイル



園長直伝 即興ハーブ講座

大切なのは継続していくこと

マルシェ運営では、仕入・開店準備・レイアウト・接客・売上管理まで一連の販売作業を担いながら、接客技量の向上に取り組んでいます。お客様にとって何がよいことなのかを考える笑顔プロジェクトは、一日の学びが即座に次の目標となり、継続するエネルギーを生み出しています。

活躍の場を自分たちで創り出す

互いの障がい特性・年齢を越え、協力しながら店をつくり自分たちが能動的に働く活躍の場で、人と社会と繋がっていることを地域に発信しています。誰かのため・お客様ののために、そんな心が行き交うポポロは、おもてなしのすべてが手作り。誰もが地域で自分らしく生きる社会の実現に『一人ひとりが主役となり輝きを放つ場(ところ)』を自分たちの手で創り上げること。』ポポロマルシェが大切にしているブレない目標軸です。



誰でもできる ストレス対処
息を抜いて 生き抜こう



～ 医務衛生委員会 ～

次第に和らぐ陽ざしのもと、庭先や道ばたに咲く花を見て、どこことなく気持ちが明るく、ほぐれるようになりました。

昨年2月頃より、新型コロナウイルス感染対策として「検温」「マスク」「手洗い」「アルコール消毒」「換気」「3密回避」等々、利用者・職員一丸となって取り組んでまいりました。おかげさまで大過なく今日を迎えることができます。皆様のご支援ご協力有難うございます。

コロナ終息宣言はまだまだ時間がかかりそう

新しい生活様式にも、なんとか慣れましたが、長い自粛生活で人との繋がりが希薄になり、知らず知らずのうちに精神的ストレスを感じるようになることがあります。気持ちが落ち込まないよう、ゆううつにならないための『元気のでる道具箱』できそうなところから取り組んでみるのも一案です。

- ❖ 早寝早起き、睡眠を十分にとる
- ❖ 会えなくなった友人に電話を
- ❖ 読書を楽しむ
- ❖ 料理をする
- ❖ 園芸に触れる
- ❖ 家の掃除をする
- ❖ 買い物はバスに乗らずに歩いて運動 等々

楽しみながら
楽しんで

ちょっと
やってみるとエンジンがかかるかも

自分のマスクがみんなの笑顔を守っています 一人ひとりができる対策を継続しよう

オール花の実園で取り組む感染対策は「自分を守り・仲間を守る」その重要性を自ら考えて行動する見える化。毎朝、玄関ロビーで実施している検温と体調確認は、今、この瞬間の状態を客観的に把握する安心と安全につながっています。皆で力を合わせる真面目さと思いやり「大切な仲間のために」。その優しさが互いの行動を確かめ合う「見えないウイルスには見える化対策」で継続した取り組み徹底し、健やかな春を笑顔で迎えましょう。



花壇も春の陽だまりに

食卓から 春の香り

熊さんだって
匂が好き

栄養だより

冬の体は春野菜で目覚めさせよう
芽吹き春 ココロもカラダも活性化

「新〇〇」「春〇〇」と呼ばれる野菜たち

年間を通して出回っている野菜にも、「新」や「春」と冠がつく、この時期だけの味わいがあります。春野菜には、冬の寒さを耐え抜いて成長してきたからこそ、優れた栄養成分がギュウギュウです。柔らかくて甘味もある、新じゃが・新玉ねぎ・春きゃべつなど、出荷量もUPする旬だから価格はお得。春の訪れを食卓から、美味しく楽しくハッピーに。

特有の豊かな香りとはのかな苦み

菜の花・筍・ウド・フキ・セリ等、春野菜に含まれる苦みや香りは、寒さでダメージを受けた体の新陳代謝を促進させ、元気にしてくれる効果抜群。冬眠から目覚めた熊さんは、まず「ふきのとう」を食して冬の体をリセットするとか。

花の便りにお散歩など外へ足を運ぶ機会も多くなります。旬を味わい、思いっきり春を楽しみましょう。

「花の実園ランチタイム」季節感&ご当地グルメを盛り込んで

全国各地の名物メニューなど、口いっぱい広がる驚きの美味しさで「より安心して喜んでいただけるように。」食事時間の分散化や介助時のフェイスシールド着用等、感染対策の緊張感を継続しながらも、イベント要素を盛り込んだ楽しい食事提供の工夫に取り組んでいます。新年度も「お昼の楽しみが仕事の意欲」ビタミン愛いっぱいのランチにご期待ください。

民間活力を最大限に発揮する事業運営の創意工夫を实践

社会福祉法人習愛会が花の実園の指定管理者として指定されました

このたび、花の実園の運営管理を行う指定管理者として、社会福祉法人習愛会が習志野市から指定されました。期間は、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間です。これまでの2期10年間の実績評価を受け、第3期目の運営を託していただきました。

地域に愛される花の実園を利用者の皆様と共に作り上げ、地域福祉貢献へ。

「一人ひとりが輝きを放つ・本人の力を最大限に発揮する」本質を大切に、喜ばれ選ばれる法人・事業所であり続けられるよう、気持ちを引き締め障害福祉サービスの安定的継続と利用者サービス向上に取り組んで参ります。



News /

新年度にバトンをつなごう

木々が芽吹き・鳥がさえずり・蝶が舞う、春の息吹に桜の開花が待ち遠しいですね。清々しい気持ちで迎える新たな春へ暦が動き始めます。



春の足音

Hananomi - Information



風の匂い 春の到来

3/26(金)	年度末企画 「花の実園アワード2020」	一年の頑張り・努力・成果を互いに讃え合おう 成長を励みにステップアップ 明日へ進む節目の会
令和3年度 ▶▶ 4/1(木)	新年度開所式	新入所者紹介
	ふくし習志野 4/1号掲載	「今わたしたちに出来ることで笑顔を地域に届けたい」 人と街を結ぶ架け橋 ポポロマルシェが紹介されます
4/3(土) 4(日)	園庭開放	自由に気ままに桜を愛でよう 花の実園に咲く今年の桜をお楽しみください
4/7(水)	ポポロマルシェ	春の上野村特産品フェア
5月25(火) ～30(日)	アートフレンズ展	ちぎり絵作品展 会場:千葉市美術館

※スケジュールや内容は、状況により変更する場合がございます。予めご了承ください。



ごあいさつ「カフェ・レポス」営業終了のお知らせ



日頃より、カフェ・レポスをご利用いただきありがとうございます。

突然のお知らせになりますが、カフェ・レポスは3月31日をもちまして、閉店させていただくはこびとなりました。

特別養護老人ホーム玲光苑習志野ローズ館様の1階にて平成27年2月の開店以来、障がい者の就労訓練と地域交流の憩いの場として生まれ、長きにわたり皆様のご支援を賜り営業してまいりました。商店会連合会のお仲間として受け入れていただき、素敵な出会い・交流・魅力的なカフェづくりのノウハウ等かけがえのない学びに、スタッフ一同言葉に尽くせぬ心からの感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、すべての方々の健康と安全を最優先に考慮し、昨年3月からの臨時休業が長期化しております。未だ収束の見通しが不透明な状況下、業務継続の可能性を熟考した結果、営業再開は難しいであろうとの結論に至りました。

カフェ・レポスは閉店となりますが、玲光苑習志野ローズ館様には、花壇の整備やシーツ交換業務を通じた障がい者の就労機会を提供いただいております。この取り組みは、高齢者施設と障害者就労事業所が業務を受委託する福福連携として、これからも継続を図ってまいります。

今後は、これまで紡いできた時間とおもてなしの心を胸に、花の実園直営売店である「ポポロ」に軸足を置き、地域との絆を深め、笑顔を届け続けてまいります。

『心通い合う温かな交流の場を提供したい・障がい者一人ひとりが自分らしく活躍する場をつくりたい』カフェ・レポス開設のコンセプトはポポロに息づいています。皆様との再会を楽しみにしております。

ご愛顧いただき誠にありがとうございました。



花の実だより 2021 春号

発行日 令和3年3月16日

発行者 社会福祉法人習愛会 花の実園
〒275-0025 千葉県習志野市秋津3-4-1
(総合福祉センター内)

TEL 047-451-3921 FAX 047-451-3922

info@hananomien.jp

HP <http://www.hananomien.jp>

facebook @hananomien1983

花の実園



～ 花の実園39年目のことはじめ 1983-2021 ～
次回夏号は6月中旬頃発行予定です どうぞ楽しみに♪

編集後記

想いを伝える地域交流の架け橋に Thank you

バトンタッチの春に向かう、令和2年度しめくくりの花の実だより。一人ひとりの輝き・花の実園らしい輝きを、新年度スタートへのあふれる期待感とともに、お届けできたら嬉しいです。

新人広報として諸先輩方に真似て学んだ一年間は、皆様がお寄せくださる感想一つひとつに支えられ、伝え続けることの大切さを活動に実感する貴重な時間と経験になりました。

花の実園と人と街をつなぐ広報誌～春夏秋冬そして新たな春号～お読みくださり、ありがとうございました。背中を押していただきました大きな励まし・温かさ、心からの感謝を申し上げます。

これからも関わるすべての方々に 笑顔の花が咲きますように

広報委員 山田広美

2021 - 2022 来春こそ さくらまつりで お会いしましょう

今できることが 明日できるとは限らない 身をもって学んだ コロナ禍

会いたい人に会いに行く 行きたい場所に行ってみる 当たり前でできていたことが

何の前触れもなくできなくなったことは 本当に衝撃的な経験でした

今まで存在していなかった新型コロナウイルス つきあいながら共生していきける 未来への明るい希望を持って

これまでずっとずっと 積み上げ続けてきたものが 加速して動き出す その時が戻って来ることを信じて

優しさで人を笑顔に つながりで街を元気に 心の交流が 温かなご支援が 苦境を乗り越える力強い糧となり

花の実園は 皆様と共に 地域と共に歩み続けます 今後とも どうぞ宜しくお願いいたします



～一人ひとりの輝きをもとめて～
花の実園

